



みやの地域づくりだより

発行 みやの地域づくり協議会（宮野地域交流センター内）生活・環境部会

第17号 平成27年6月23日発行

☎928-0250 FAX928-0302

✉miyanoti@c-able.ne.jp

宮野小学校 ホタル委員会より発行された

ホタルだより を紹介します

6月13日土曜日の夜に「第31回宮野ホタルまつり」が開催されました。多くの地域の方や市内の方が参加され、大盛会のうちに終わることができました。本校のパネル展示も多くの方が足を止めて見てくださいました。その中から、6年生の赤間さんの作文を紹介します。（全原文ママ）

ホタルと私

6年 赤間 香音

毎年5月になると、「もう、ホタル出たかな」と、私の家では話題になります。今年もこの前、みんなで近くの川にホタルを見に行きました。まだ、たくさん出ていなかったけれど、ぼつぼつとホタルの光が見えていました。私は思わず、「わ、おるやん。」と、さけんで近くをかけよりました。しばらくその光を見ていました。うれしい気分になりました。犬の散歩をしていたおじさんも立ち止まって見とれていました。ホタルの光は、きれいで、人をほっとさせる力があるんだなと思いました。大きな川にも行ってみましたが、まだあまりいませんでした。もう少ししたら、たくさんホタルが出てくるので、その時また見に行きたいです。

こうやってホタルを楽しめるのは、宮野が自然であふれていて、川がきれいだからかなと思っています。これからも自然を大切にしていき、いつまでもホタルが見られる宮野でありたいです。

6月13日には、「宮野ホタル祭り」があるので楽しみです。帰りには、いつも川沿いを通して、ホタルを見ながら家に向かいます。今年のホタル祭りも、人よりも多いホタルが見られるといいなと思います。私たちは、毎年ホタル祭りを楽しんでいるけど、帰るときよくごみを見つけてます。こういうごみは、川を汚くして、ホタルの数を減らしています。ホタルが減ることによって、私たちはホタル祭りを楽しめなくなります。ホタルは、私たちを幸せにしてくれます。だから、私たちも幸せをもらうだけではなく、与えなければなりません。一人ひとりが川にポイ捨てをしないという気持ちを持って、祭りを楽しむべきだと思います。そうすることでホタルは川で気持ちよく住めるし、人間も祭りを長く楽しむことができると思います。

まつりの様子

ホタル委員会の活動について発表するホタル委員会委員長の6年生 河村 賢吾くん →

